

# 第1回会議意見に関する説明等

資料1

## 1 資料5 - 2 「第4次練馬区男女共同参画計画」実施状況（その他の項目）に関する意見

意見内容	区の説明	所管課
<p>1頁 セクシュアル・ハラスメント等の防止</p> <p>実績の研修の実施に対して参加人数が記載されている。区立小中学校数の各研修対象者人数に対する参加人数の記載が好ましい。参加比率を表記することも検討してほしい。</p>	<p>人権教育プログラムを活用し、教員の人権感覚を高める研修を行っています。本研修は、初任者研修、中堅教諭研修、副校長研修、校長研修等で行われており、対象者はほぼ全員受講しています（学校事情で欠席がある場合を除く。）。</p>	<p>教育指導課</p>
<p>1頁 セクシュアル・ハラスメント等の防止</p> <p>教職員の被害相談窓口（内部通報窓口）はどこ部署で、相談件数などはどこに記載されているのか。記載されていない場合、相談件数や報告はどこに記載されているのか。</p>	<p>「練馬区立学校等セクシュアルハラスメントについての苦情処理要綱」に基づき相談窓口（相談員は教育長が指定する教職員2名および教育総務課職員係長、教育指導課教職員係長、職員団体の推薦する教職員3名）を設置し、相談窓口には相談員を置いています。相談を受けた窓口相談員は相談シートにまとめて、苦情処理委員会へ報告することとなっています。相談件数、相談内容については、事務局である教育総務課職員係がまとめて苦情処理委員会へ報告しています（公表はしていません。）。</p>	<p>教育総務課</p>
<p>3頁 男性に対する支援の推進</p> <p>父親支援のDVDをホームページで公開したと実績に記載されているが、この公開DVDのアクセス数の把握はできるのか。アクセス数がわかるならその数を教えてほしい。</p>	<p>父親支援のDVD「赤ちゃんがくる！！～もうすぐパパになるあなたへ～」については、練馬区公式youyubeチャンネルにて、動画を7つに分けて配信してます。</p> <p>公式youtubeチャンネルでは「出産編」の動画視聴が一番多く7.8万回、続いて「赤ちゃんの成長編」が3.5万回の視聴となっています。</p> <p>区ホームページの父親向け育児応援動画のアクセス数は平成31年度（2019年4月～2020年3月末）で1,552回です。</p>	<p>保健相談所</p>

<p>4 頁 配偶者暴力等の防止に関する意識啓発</p> <p>DV啓発カードの設置場所が区内庁舎内の女性トイレと利用者の多いフロアと記載されている。記載されている場所以外に設置している場所があれば知りたい。</p>	<p>総合福祉事務所があるフロアに設置しています。</p>	<p>人権・男女 共同参画課</p>
<p>5 頁 被害者支援の充実</p> <p>相談件数が延件数で記載されている。前年度と比較する件数の表記はしないのか。相談件数の増減について把握はしないのか。</p>	<p>相談業務は、相談者の個々の状況により回数に違いが出てきます。回数が増加することが事業の充実とは必ずしも言えないため、増減の比較はしていません。</p>	<p>人権・男女 共同参画課</p>
<p>5 頁 被害者支援の充実</p> <p>加害者からの閲覧や交付申請で、誤って閲覧などの事例はあったのか。現在の拒否対応で今後も大丈夫なのか。改善する点があれば教えてほしい。また、拒否件数9件の実績は他の自治体と比較して多い方なのか、少ない方なのか。</p>	<p>加害者からの閲覧や交付申請に対して、誤って閲覧や交付を行った事例はありません。</p> <p>現在の拒否対応は法令に基づくものであり、今後も支援措置対象者に関する閲覧や交付申請に対して適切な対応を徹底していきます。また、加害者への情報漏洩を防ぐため、支援対象者の住民記録等を検索すると住民記録担当に連絡するよう警告メッセージが画面に表示される仕組みを構築しており、各課の担当者が住民記録担当に問合せの上、適切な対応をしています。</p> <p>拒否件数について他の自治体では公表していませんが、今回、件数の確認をとることができた10区中、練馬区は5番目でした。なお、拒否件数の9件は、郵送請求に対する交付拒否件数であり、窓口で申請をお断りし申請書を受け取らなかったケースは含まれていません。</p>	<p>戸籍住民課</p>

<p>6頁 被害者支援の充実</p> <p>過去の事件などで自治体間の申し送り不十分などで虐待事件が発生し、子どもが痛ましい被害を受けている。練馬区では区外からの転入、転出に伴う申し送りなどの体制は十分な職員配置ができていますのか。</p>	<p>転入転出に関しては、自治体間で移管、情報提供を確実に 行っており、申し送りに対応できる十分な職員配置ができて います。</p>	<p>練馬子ども 家庭支援セ ンター</p>
<p>6頁 被害者支援の充実</p> <p>4センターでの相談件数などの実績が記載されている。前年度と比較、評価のために前年度数値を知りたい。</p>	<p>平成30年度の件数は以下のとおりです。 相談件数 2,133件、電話件数 492件、 面談回数 23,619回</p>	<p>学校教育支 援センター</p>
<p>9頁 女性向けの機会均等・待遇の確保についての啓発・周知</p> <p>女性のためのプチ起業講座の実施の後追いとして、受講者の起業者は何人くらいいるのか、区として把握できるのか。</p>	<p>受講者を対象に翌年に起業支援を行っていますが、実際の 起業者の把握はしていません。</p>	<p>人権・男女 共同参画課</p>
<p>15頁 性的マイノリティの方への情報提供および区民への啓発</p> <p>保健師相談件数は何件あったか。</p>	<p>3件です。</p>	<p>保健相談所</p>
<p>16頁 男女共同参画の視点に立った災害対策の推進</p> <p>パネル型組立トイレを35ヶ所に配備（98避難拠点中）、3か年計画の残りを確実に配備すると思う。トイレ問題は災害時の課題である。個人の携帯トイレなどの備蓄も全区民が準備できるものではない。避難拠点到1か所につき1台は現実問題としては少なすぎる。1拠点当たりの増設はできないのか。また、個人での携帯トイレの備蓄を想定していくなら、購入の補助などなんらかの対応はしていたのか。</p>	<p>組立トイレについては避難拠点到3台備蓄しており、その うち1つをパネル型組立トイレに入れ替えます。入替えの 際に避難拠点から引き上げた組立トイレは、避難拠点以外 の備蓄倉庫に備蓄しています。発災後、被害状況に応じて 避難拠点へ輸送します。また、個人に対しても携帯トイレ を含む防災用品のあっせんを行っています。</p>	<p>防災計画課</p>

## 2 全体的な事項に関する意見

意見内容	区の説明	所管課
<p>－ コロナ対応</p> <p>コロナ感染症拡大の影響で2019年度末（2020年1月～3月）の計画が未達成の事業などがいくつかあるかと思う。今後、その再実施など検討するのか。</p>	<p>3月末までの実施状況であり、コロナウイルス感染症拡大の影響により年間計画が未達成となっている事業はありません。</p>	<p>人権・男女共同参画課</p>
<p>－ 女性の健康</p> <p>女性の健康 = 出産と限定せず、未病と呼ばれることへの予防医学に取り組まなくてはいけないと思う。</p>	<p>練馬区医師会等の協力を得て、各種健康診査およびがん検診を実施していますが、女性特有のがん検診として子宮がん検診および乳がん検診を実施しています。保健相談所および健康推進課で取り組んでいる健診や各種講演会等は、疾病の早期発見と発症予防を目指しています。また、「健康づくりサポートプラン」において、日頃の健康づくりや生活習慣病対策の推進に取り組んでいます。</p>	<p>健康推進課</p>
<p>－ 子どもの教育</p> <p>不登校の議論が限定されている。体と心の養い方、先を見据える力を子供に教えなくてはいけない。</p>	<p>教育指導課と学校教育支援センターが連携して、適応指導教室やスクールソーシャルワーカーを活用して個別の相談を行ったり、先を見据えた進路指導のアドバイスなどを実施しています。</p>	<p>教育指導課</p>
<p>－ 福祉について</p> <p>練馬区独自の、病気になっても大丈夫といえるシステムを。教育無償化を。</p>	<p>ご意見として承り、関係部署へ情報提供します。</p>	<p>人権・男女共同参画課</p>

## 3 資料5 - 2「第4次練馬区男女共同参画計画」実施状況（その他の項目）の実績数値修正について

17ページ「妊娠・出産等に関する健康支援」

・パパとママの準備教室参加者数 2,650名 2,651名